

《 会計課 令和4年度予算見積方針 》

部内マネジメント責任者

会計管理者 福西 弘充

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】

会計規則等に基づく適正な会計処理を確保するため、書類審査や会計事務研修会等を通じて指導を行い、正確な出納事務の執行に努めます。

【重点事項】

会計業務のうち定型的な業務をアウトソーシングすることにより、受託事業者の専門的知識の活用、業務水準の安定確保を図ります。

【健幸都市づくりの推進に向けた部内の考え方・主な事業】

【見 積】令和4年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額 (千円)		令和4年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
会計課	49,688	49,688	○会計事務のアウトソーシング化により、安定した出納事務を行います。
合 計	49,688	49,688	

【前年度】令和3年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額 (千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
会計課	45,689	45,689	
合 計	45,689	45,689	

【増 減】(【見 積】-【前年度】)

所 属	予算額 (千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
会計課	3,999	3,999	○会計年度任用職員の雇用(正規職員からの振替対応)に伴う増 ○公金事務手数料改訂に伴う増 ●需用費の必要物品の見直しに伴う減
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
合 計	3,999	3,999	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

事業名	事業費(千円)	一般財源	事業概要
会計年度任用職員雇用	2,067	2,067	正規職員1名を削減し、新たに会計年度任用職員を1名雇用します。
公金収納事務手数料の改定	1,658	1,658	指定金融機関である滋賀銀行(株)から料金改定要望のあった各種手数料を支払うものです。

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B	A 枠配分額	B 見積額	A-B	
			▲は枠超過			▲は枠超過	
会計課	10,777	10,777	0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
合 計	10,777	10,777	0	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について